



能勢高校ニュースレター

第80号 H.27. 3月発行

マレーシア修学旅行

アスタ高校との学校交流等を楽しみました!!!

1月25日から1月29日の4泊5日の日程で、2年次生のマレーシア修学旅行を実施しました。現地での活動3日目には、第9回目となるアスタ高校との学校交流を行いました。アスタ高校は、英語をコミュニケーションツールとし、マレー系、中国系、インド系の生徒がともに学び、多文化共生や異文化理解を尊重している高校です。

本校生たちは、「総合的な学習の時間」及び春の校外学習の機会を利用し、マレーシアについての学習を積み重ねるとともに、アスタ高生と個別に半年以上かけてインターネットを利用したメール交換や写真交換などの交流を続けてきました。

当日は、アスタ高校に到着後、各々の交流相手と対面し、交流会が始まりました。本校生たちは、学校紹介のプレゼン、人形浄瑠璃・空手・剣道の披露、キロロの“未来へ”の合唱などを行いました。アスタ高生たちも、民族衣装のファッションショーや歌、伝統的な結婚式のパフォーマンスを披露するなど、熱烈に歓迎してくれました。また今回は午前中の文化交流会の中で、両校の姉妹校提携の調印式も行いました。生徒たちは交流ノートを交換し、食堂で昼食を共にした後、午後からは、アスタ高生のリードでクアラルンプールのセントラルマーケットを散策しました。夕食のパーティーでは、両校生が歌やダンスなどのパフォーマンスを披露するなど、全員が心から打ち解け、大きな感動を呼ぶものとなりました。まる一日かけた交流の終わりには、多くの生徒が涙を流し、別れを惜しんでいました。

また、学校交流以外の活動としては、熱帯雨林トレッキング、イスラム教・ヒンズー教・仏教の代表

的な寺院の見学なども行いました。本校生たちは、この旅行を通じ、外国の友人を作ることができ、多民族国家であるマレーシアの文化に直接触れることができました。また、環境問題を考え、日本の文化を見つめなおすとともに、英語力を身に付けることの重要性を肌で感じ取ることができました。



↑ 姉妹校提携の調印式をしました

↑ 両校姉妹校の提携証



↑ ヒンズー教の聖地 バツー洞窟では、272段の石段を登りました



↑ モスクでは女子生徒は赤のフード付きコートを着ます



↑ アスタ高校では正門から大歓迎を受けました



↑ 森林研究所で吊り橋を渡りました

ECC 国際外語専門学校で修学旅行に向けて

語学研修を行いました!!!

平成26年12月19日(金)梅田のECC国際外語専門学校で、語学研修を行いました。研修では、会話はすべて英語で、海外からの留学生と、1対1で会話を行ったり、ネイティブの先生による、飛行場でのチェックイン方法や、飛行機内での会話、またホテルでのチェックイン方法やレストランでの注文方法等、海外で生活するにあたり、必要な活動を模擬体験することができました。この語学研修は、修学旅行へ向けての研修であったため、生徒にとっては海外修学旅行に対する不安も少し和らぎ、「結構英語が理解できた。」といった生徒の声も聞こえ、有意義な語学研修となりました。



全体説明の様子



航空機内での会話練習

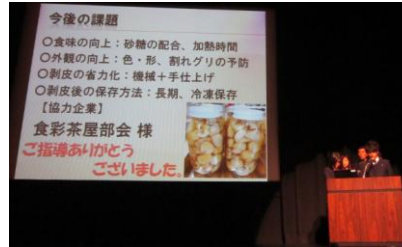


レストランでの会話練習

人気産業活用人材育成事業成果発表会

1月26日（月）エル・おおさかにて、大阪府労働協会による人材育成事業の成果発表会が開催されました。府内の実業系を中心とした16校が、各校に配置されているコーディネーターの紹介のもと、事業への取り組みの成果を発表しました。

本校は、農場生産物を用いた加工実習として、「ブドウジャムの製造」、「クリの甘露煮製造」、「ハクサイキムチの製造」、「黒米ベーグルの製造」、「ソバ麺の加工」の5つのテーマを掲げ、地域の専門家の方々を農場に招き、計29名の生徒が技術指導を受けました。発表会では、「クリの甘露煮製造」について、3年生の育田みづほさん、長原昇人君、村北彩芽さん、山本飛鳥君の4名が、試行錯誤を重ねながら、品質の向上を目指した様子について報告しました。



大阪府教育委員会人権作文表彰

本校1年生の小谷麻菜美さんと原田朔弥さんが、「大阪府人権作文コンクール」で府内5100作品の中から優秀賞に選ばれました。ふたりは1月31日（土）大阪府教育センター大ホールで開催された「平成26年度・人権文化発表交流会」に参加し、表彰状を授与されました。



本校生徒は過去4年にわたり、最優秀賞や優秀賞を連続して授与されています。

「命の大切さを学ぶ教室作文コンクール」大阪府警察本部で表彰

2月16日に警察庁主催の「命の大切さを学ぶ教室作文コンクール」表彰式で本校1年生の小谷麻菜美さんが警察庁給与厚生課長賞を授与されました。この賞は「命の大切さを学ぶ教室」を受講した中学校・高校生を対象に全国規模で作品の募集が行われ、大阪府では4作品が選出されたものです。また、本校に対しては犯罪被害者を支え、被害者も加害者も出さない街づくりの気運醸成への貢献を行ったとして、大阪府警察本部より感謝状が授与されました。



土曜日講習会「よのなか科」AERAが取材 3/9（月）発売号に掲載

1月31日（土）土曜日講習会「よのなか科」の授業にて、朝日出版社「AERA」編集スタッフの方々による取材がありました。この取材は、「受験サプリ」を活用し特色のある取り組みをしている高校を全国から3校選び、特集を組むものでした。3月9日（月）発売「AERA」に、この記事が掲載されます。



さよなら ヤオ

4月からほぼ1年間本校で過ごしたヤオが2月初めに帰国しました。彼女は能勢高で様々な経験をするとともに、町内すべての小中学校を訪問して、児童生徒たちに中国について紹介し、交流活動をしてくれました。

日本語ボランティアの方々の熱心な指導の結果、来日前から勉強を始めていた日本語にさらに磨きをかけ、日本語検定の「1級」に合格し、帰国直前の1月17日（土）には、北野高校で行われた「高校留学生日本語による体験発表会」において、18名の留学生によるレベルの高い発表の中、優秀賞（3名）に選ばれました。

また、11月に行われた「能勢高校創立60周年記念式典」では、空手道部の一員として「記念行事・クラブ発表」に参加し、来日後に能勢高校で経験を積んだ「空手」の演武を披露してくれました。

約1年間の留学生活が終わります。大変お世話になりました。みんながいろんなことを教えてくれて、たくさん体験をさせてもらいました。本当によかったです。能勢高校創立60周年記念式典では、空手道部の部員として演武を披露しました。日本語のボランティアの方は13人も来てくださって、日本語がだいぶ上手になりました。先生たちのおかげで1月のスピーチコンテストで優勝しました。日本語能力試験（1級）も合格しました。この10カ月間の思い出は宝物として大事にします。ありがとうございました。

シェン・シンヤオ



登校最終日に挨拶をするヤオ

旅のノンフィクション大賞「旅-1グランプリ」優秀賞受賞

1年生松田くるみさんが、読売新聞大阪本社主催第18回旅のノンフィクション大賞高校生部門「旅-1グランプリ」のエッセー部門で、優秀賞を受賞しました。全国から573点の応募があり、最優秀賞につぐ優秀賞を獲得しました。このコンテストは、海外を旅した時の人とのふれあいや、自然・文化との出会いをエッセーとして募集するもので、今回は「私が旅した、あの町、この町」というテーマが与えられていました。

松田さんの作品は、「つなぐ」というタイトルで、昨年7月の本校のオーストラリア国際交流研修に参加したとき、両親の結婚式の1枚の写真がこの海外旅行の「いま」につながり家族の絆を感じさせる内容です。作品は、読売新聞のホームページ「第18回旅のノンフィクション大賞入選作品」に掲載されています。